

2023 年度 三浦外洋セーリングクラブ
基金総会・通常総会議事録

開催日：2024 年 2 月 13 日(火)19:00~19:51

場 所：新橋駅前ビル 1 号館 6 階 606 セミナールーム+Zoom ミーティング

1. 開会の言葉

尾山理事の進行により 2023 年度三浦外洋セーリングクラブ基金総会・通常総会開催の宣言があり開会に先立ち坂口事務局長より定数の確認が行われた。会場およびオンライン出席者 17 名。委任状が 49 名。議決権行使 42 名が賛成。第 2 号 2024 年予算のみ反対 1 名。総数 108 名となり規約にある 4 分の 1 を超えている為、総会成立が確認された。

2. 会長挨拶

定則に則り飯島会長が総会議長を務め、議長より総会議事録作成人として加藤理事、総会議事録署名人として荒嶋理事・鈴木理事を指名し挨拶があった。コロナが収まり MOSC の活動も活発になってきた。会長に就任して以来、会則第 3 条 目的、第 4 条 事業をいつも読みながら諸活動はそれに合致しているのかと自問しながら運営をしてきた。本日も各議案についてその気持ちを持って 2024 年度の事案について対処していきたいと挨拶があった。

2023 年度基金総会

第 1 号議案 2023 年度基金決算報告、2024 年度基金予算決定の件

通常総会に先立ち基金総会が開催され、小板橋理事が議長を務めた。議長より 2023 年度の基金の収支決算報告を発表。2023 年度会員数が 245 名、基金収入が 245,000 円に雑収入を加え 245,178 円が積み立てられ、前期繰越金 11,158,396 円と合わせると、次期繰り越し金は 11,403,574 円になると報告があった。

第 2 号議案 2024 年度役員の選任について

本年度を持って退任する小板橋基金会長、三輪理事に代わり新任役員として鈴木理事、吉田理事が役員候補として、その他の役員は重任。新任会長候補に石原理事が理事会の承認を受けていると報告された。

第 1 号議案 2023 年度基金決算報告、2024 年度基金予算決定の件および第 2 号議案 2024 年度役員の選任について、承認可決された。

2023 年度三浦セーリングクラブ通常総会

議事

第 1 号議案 2023 年度事業報告および決算報告の件

坂口事務局長より 2023 年度の事業報告資料を配布し報告をおこなった。会員数、登録艇数の推移は会員 236 名、JSAF 登録艇数 85 艇であった。2023 年度の一般会計決算案は収入 1,785,264 円、支出 1,501,321 円 当期収支差額 283,943 円となった。この黒字部分は AED 購入見送り、長距離航海支援制度の出費がなかった等との説明があった。JSAF 関係・基金については当期収入計 1,863,050 円 支出が 1,863,050 円で差額が 0 円になることが報告され、2023 年度決算は前期繰越金 9,070,284 円に 283,943 円を加え次期繰越金が 9,354,227 円となり、三井住友銀行日本橋支店と三菱 UFJ 銀行月島支店に貯金されていると報告があった。会計監査について最川監事、小川監事より 1 月 12 日に会計監査を行い適正と認めたこととの報告があった。第 1 号議案は全会一致で承認可決された。

第 2 号議案 2024 年度事業計画および予算決定の件

坂口事務局長より 2024 年度の一般会計予算案資料を配布し説明がなされた。昨年の実績から当期収入計 1,854,674 円を見込んでいると説明。当期支出は各委員会の講習が再開すること JSAF 関連の会議による交通費、会議室、オフライン会議費など物価値上げの影響と MOSC のバージを製

作し会員に配布する費用等を見積り当期支出計は 3,884,000 円を見込んでいると説明があった。その結果、2024 年度収支差額 ▲2,029,326 円の赤字予算案が報告された。JSAF 関係の予算および基金の説明後、繰越金について 2023 年度の決算では 9,341,027 円のところ 2024 年度はこの予算通り実行すると次期繰越金が 7,311,701 円になると説明があった。

・事業計画について

○総務委員会 全国外洋系団体長会議、事務局長会議などに参加、及びクラブバージの制作について説明があった。

○レース委員会 新春親善レース、小網代フリートレース、リビエラ湘南レース、ショートハンドチャレンジ 123、相模湾オープン、石廊崎レース、トランスサガミヨットレース、ヨコヤマカップ、若大将カップ、第 61 回小網代カップ、全日本ミドルボート選手権も協力予定である。またドローンマークの導入調査も 1 年かけて行う予定と説明があった。

○ルール委員会 外洋三崎と共同でルール講習会を開催予定と説明があった。

○安全委員会 外洋三崎と共同で安全講習会を開催予定。「救命講習」および「サバイバル・医療トレーニング」の受講援助制度を設け受講者には援助金をサポートするなど説明があった。

○計測委員会 ORC の勉強会を開催。IRC、ORCC レーティング取得申請艇へのアドバイス、手続を行う。

○通信委員会 都市計画道路西海岸線計画における小網代湾にかかる橋による通信障害の対応打ち合わせを県などの担当者と実施。無線局の維持管理を実施していくなど説明があった。

○フリート

シーボニアフリートはリビエラ湘南レース。小網代フリートは KFR、第 61 回小網代カップ。佐島フリートは湘南レースの運営に協力するなど説明があった。

○事務局 日常的会員サービス業務を引き続き実施していくと説明があった。

この 2024 年度予算案に対して関根顧問より何年も据え置きになっている事務局業務委託費を、諸物価高騰を考えて上げてはどうかという動議が出され、月 1 万円上げて月額 6 万円にすることが承認可決された。

第 2 号議案 2024 年度事業計画および予算決定の件について、議決権行使のハガキで反対票が 1 票入っていたが理由等が書かれていなかったため、そのまま採決に入り承認可決された。

第 3 号議案 運営規則の変更について

運営規則第 3 条（会長・副会長の選任）の第 3 項を以下のように変更したいと動議が出された。

・変更前 「3. 副会長は、各フリートから 1 名を選任する。但し、会長所属のフリートは除かれる。」とあるのに対し。

・変更後 「3. 副会長は、原則各フリートから 1 名を選任する。」

これは現在尾山副会長が小網代フリート所属で飯島会長と重なり規則に抵触するためと説明があった。すでに 1 月の理事会では変更を承認されていると報告。第 3 号議案 運営規則の変更について承認可決された。

第 4 号議案 理事の選任について

規定で定年となる理事、小板橋理事、才藤理事、三輪理事が退任することを受けて新任理事候補として、内倉氏、神崎氏、栗山氏が紹介され、理事の選任について承認可決された。

総会に出席された内倉新任理事、栗山新任理事より挨拶があった。

閉会の言葉

飯島会長より総会の感想、閉会の言葉があった。

議長は、以上をもって本日の会場および Zoom のハイブリッドによる基金総会・通常総会を終了した旨を述べ、19 時 51 分閉会した。

以上の決議及び議事の経過を明確にするため、議事録署名人は次に署名する。

2024 年 月 日

議事録署名人

議事録署名人